

教科 Subject	芸術		科目 Course	美術 I	学年 Grade	1	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	美術 I (光村図書)			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験は行わない。完成作品の評価を基に、制作への意欲（授業態度、資料・画材準備等）による日々の評価を加味して採点・評価を行う。					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	・オリエンテーション			<ul style="list-style-type: none"> <li>・構図・表情を工夫することができる。</li> <li>・パーツの配置など全体のバランスを見ることができる。</li> <li>・光の方向を意識して陰影をつけることができる。</li> <li>・細部の表現まで妥協せず作品を完成させることができる。</li> <li>・お気に入りの作家を見つけ、画風の特徴や技法を研究することができる。</li> <li>・選んだ作家風に画面構成をすることができる。</li> <li>・選んだ作家風に着色することができる。</li> <li>・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。</li> <li>・過去の作品を鑑賞し、制作の意欲を高めることができる。</li> <li>・「想像」と「観察」の違いを実感し、資料収集の重要性を認識することができる。</li> <li>・骨格把握を目的として動きのあるスケッチできる。</li> <li>・骨格と動きを意識して針金を加工することができる。</li> <li>・筋肉を意識して粘土付けをすることができる。</li> <li>・毛並みなど、細部まで妥協なく作り込むことができる。</li> <li>・自他の作品を鑑賞し、成果を確かめることができる。</li> </ul>		
		2	・自画像デッサン					
		3	1. 構図を練る					
	5	4	2. 観察描写					
		5	3. 立体的な調子の表現					
6	6	6	4. 細部の描き込み					
		7	・自己を描く					
		8	1. 作家研究					
	9	2. 下絵作成						
2 学期	9	10	3. 着色					
		11	4. 鑑賞					
		12	7. 生徒作品の鑑賞					
		13	・生き物をリアルにつくる					
	10	14	1. 作りたい生き物を考える					
15		2. 生き物を想像で描いてみる						
16		3. 資料収集						
11	17	4. アイデアスケッチ						
	18	5. 制作						
	19							
	20							
3 学期	1	21						
		22						
	2	23						
24								
3 学期	2	25						
		26						
	3							
3 学期	1	27	・名前のロゴをデザインする					
		28	1. 自分自身の名前について知る					
	2	29	2. 自分自身の個性を見つめる					
30		3. アイデアスケッチ						
3	3	31	4. 制作					
		32	5. 生徒作品の鑑賞					
		33						
		34						
		35						

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

自らの意思で選択した「美術」という科目に対し、胸を張って向き合う必要があります。中学時代に習った基礎を振り返ると同時に、新たな表現に積極的にチャレンジしてください。年齢とともに高まる客観性を生かして、自己を見つめ、目の前の対象を見つめましょう。これまでは見えなかった、物事の様々な側面が垣間見られるはずですよ。

